

いつまでも健康で住み続けられる、住みたくなるまち

広報

APR.2024

Soeda
Public
Relations

No.750

ありがとう！添田町フォトコンテスト

平成8年から始まり28回の歴史を数える添田町フォトコンテストも、今回で幕を下ろすこととなりました。皆さんが見つけた添田の魅力ある写真を、今までの感謝を込め表紙に詰め込みました。第28回フォトコンテスト入賞作品は18、19ページに掲載しています。



令和6年度 添田町 施政方針

3月定例議会で寺西町長が発表した本年年度の施政方針の中から、町の目指すべき方向性と重要施策を、総合計画に記載する「施策別のありたい姿」の項目に沿い、抜粋してお伝えします。



1月1日に発生しました令和6年能登半島地震により亡くなられた方々と御遺族に対し、深く哀悼の意を表しますとともに、被災された全ての方々に、心からお見舞いを申し上げます。多くの尊い人命や財産が失われ、被災された多くの方々が、未だに日常生活を取り戻すことができていない状況を目にするたび、町政を預かる者として、自然災害はもとより、さまざまな危機的事象から町民皆さんの生命と暮らしを守り抜くことの大切さを改めて痛感しているところです。

本町でも、昨年7月の豪雨災害に見舞われ尊い命が失われました。近年、予期せぬ災害が日本全国で発生しています。本町においても、住民の安全・安心を確保するために、日ごろからの地域のつながり、連携を強化するなど、必要な取り組みをこれまで以上に進めるとともに、引き続きさまざまな

な災害に対しての備えを怠ることのないよう、より一層の強化に努めてまいります。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが季節性インフルエンザと同様の5類感染症に移行されたことに伴い、コロナとの闘いは転換期を迎えましたが、今もインフルエンザとの同時流行がみられるなど、基本的な感染症対策の重要性に変わりはありません。平時からの備えを推進していくとともに、コロナ禍において得られた教訓を今後の取り組みに生かしてまいります。

【定住・愛着】 —住みたい・ 住み続けたいまち—

▼定住・住宅対策
若者や子育て世帯の定住施策を強化するため、引き続き若者の住宅新築等に係る費用の一部支援を

行います。また、空き家・空き地バンクによる情報提供、リノベーション支援などきめ細かな施策を行い、より一層の移住・定住へとつながるよう努めます。

▼歴史文化遺産継承
歴史的建造物や伝統的な祭り行事など、脈々と受け継がれてきた大切な歴史や文化を保存・継承し、それらを観光資源として活用するために、第2期歴史的風致維持向上計画の策定を行いました。これまで進めてきた中島家住宅や英彦山の環境整備など、第1期計画の事業成果をより高めていきます。

【稼ぐ・関係人口】 —人が集まり賑わうまち—

▼農林業の振興
農業従事者の高齢化や後継者不足の解決に向け、援農や福祉分野と連携する農福連携の取り組みなどを検討し、支援を図るとともに、食育活動を通じて農業に興味を持

ち、将来、農業関係に携わる子どもたちを増やす取り組みを行います。また本年度は、24年ぶりに本町で福岡県植樹祭が開催されます。森林を共有の財産として守り育て、健全な形で次の世代に引き継いでいくため、オークホール周辺や添田公園において広葉樹の植樹を行う予定です。

▼商工業の振興
地域経済の活性化と雇用の創出を図るため「創業等支援補助金」制度を継続し商工会などと連携して、起業を目指す方や既存事業者の経営革新等に対し、引き続き伴走型による支援を行ってまいります。

▼観光の振興
設備の故障等により休館としておりました「ひこさんホテル和」は令和6年秋の再稼働に向けて、空調設備やボイラーなどの施設改修事業を行います。また、歓遊舎ひこさんが開館25周年を迎え

多くの皆さんに訪れていただくため、「花火大会」と「ふる里まつり」を融合し、歓遊舎一帯を会場として開催することを計画しています。

【支え合い・助け合い】 —誰もが孤立せず 健康に過ごせるまち—

▼健康づくり
母子保健事業では、添田町こども家庭センター「親子すこやかセンター」において、関係機関との連携を図り、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援を行います。

▼高齢者支援

高齢者が住み慣れた場所で自分らしい生活が続けることができるように、地域で自身の介護予防に取り組んでいる「元気倶楽部」や「若返り教室」などでのフレイル予防の推進や、社会福祉協議会、民生委員などの見守り活動などと連携し、地域社会とのつながりを保ちながら住み慣れた地域で安心して暮らせるようサポートします。また、高齢者等の買物支援と併せて地域コミュニティの形成を目的とした移動販売事業は、全町的に確立・早期実施に向けて取り組みます。

▼個性・人権の尊重

基本的人権が尊重され、男女が

対等に参画し、多様な個性を互いに認め合いながら、誰もが自分らしく安心して住み続けられることのできる地域社会の実現に向けて、人権教育や啓発活動を推進します。

【安全・安心】 —安全・ 安心に暮らせるまち—

▼環境保全
大任町に建設中の新たなごみ処理施設は、令和6年中の完成を目指し事業が進んでおり、完成後は一定の期間、試験運転を行ったうえで、令和7年4月から本格的な稼働を開始します。

▼防災・危機管理

災害発生時、皆さんが早期に避難行動に移れるよう、情報を迅速、正確かつ確実に伝える「防災ラジオ」の町内全世帯への完全配布を目指します。また、「自らの命は自らが守る」という意識を持つて自らの判断で避難行動をとるための判断材料である「ハザードマップ」の更新を行います。

▼地域公共交通の維持

皆さんが通勤・通学や買い物・通院など安心して日常生活を送れるようニーズに沿った公共交通ネットワークの構築を図るため、町バスやデマンド型乗合交通等の運行サービスの見直しを行うとと

もに、「地域の足は地域で守る」という意識づけを図りながら地域と連携します。

【子育て・教育】 —子育て支援・ 教育が充実したまち—

▼小中学校の新校舎建設
令和7年2月末に工事が完成し、新たな小学校及び中学校が令和7年4月に開校を迎えます。新校舎は、木の香りが漂い温かみを感じられる空間になるよう添田産の木材を用いて内装の木質化を図り、木に親しんでもらえるよう木製品を導入します。また、開校にあわせ新たな小学校の校歌、校章、校旗の作成等を行います。

▼放課後児童クラブ
本年5月に「放課後児童クラブ基本計画」を策定し、新しい放課後児童クラブの設置に向けて、計画を着実に進めます。

▼スポーツ活動の振興
各競技団体や体育協会、スポーツ推進委員との連携強化を図り、イベントやスポーツ教室を実施し、誰もが気軽にスポーツに親しむことのできる環境づくりや施設整備を進めます。また、本年8月に英彦山で開催される「全国高校総体登山大会」を機に、レベルの高い競技に触れる機会を創出することにより、スポーツによる交流

人口の増加及び地域の活性化を図ります。

【関心・自立】 —自立と協働のまち—

▼協働のまちづくり
誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域の課題について地域の皆さんで話し合い解決していく仕組みづくり「小さな拠点づくり」を引き続き支援してまいります。

▼ホームページ

町からの情報をいち早く伝え、町外への情報発信にも大きく寄与するホームページのリニューアルに取り組みます。スマートフォンへの対応などあらゆる方が利用しやすい情報ツールとしてのホームページを目指します。

▼デジタル社会の実現

マイナンバーカードの普及や公式LINEの拡充などサービスのデジタル化を推進し、住民サービスの向上と行政窓口の効率化を図ります。また、スマホ体験教室などを通じてデジタルデバйд解消とデジタルの利便性を実感できる地域社会の実現に取り組みます。

▼ふるさと寄附金

ふるさと寄附金の拡大を目指す新たな返礼品の開発、町を知っていただくための宣伝などに取り組みます。

令和6年度

予算

総額121億4812万円の
まちづくりスタート

小中学校建設事業などの大型事業が本格的に始まることから、前年度比16億7832万円の増額となった令和6年度当初予算。「みんなでまちづくり」を合言葉に「いつまでも健康で住み続けられる・住みたくなるまち」を目指し、一般会計105億2443万円、特別会計16億2369万円、予算総額121億4812万円の令和6年度まちづくりが始まります。 園役場財政課(☎82-0350)

歳入

歳入は、皆さんの税金や使用料・手数料などによる自主財源が全体の17.4%、国や県に頼った依存財源が82.6%と本年度も財源の多くを依存財源が占める財政構造となりました。依存財源のうち町債については、小中学校建設に伴い前年度比7億8355万円の大幅な増額となっています。

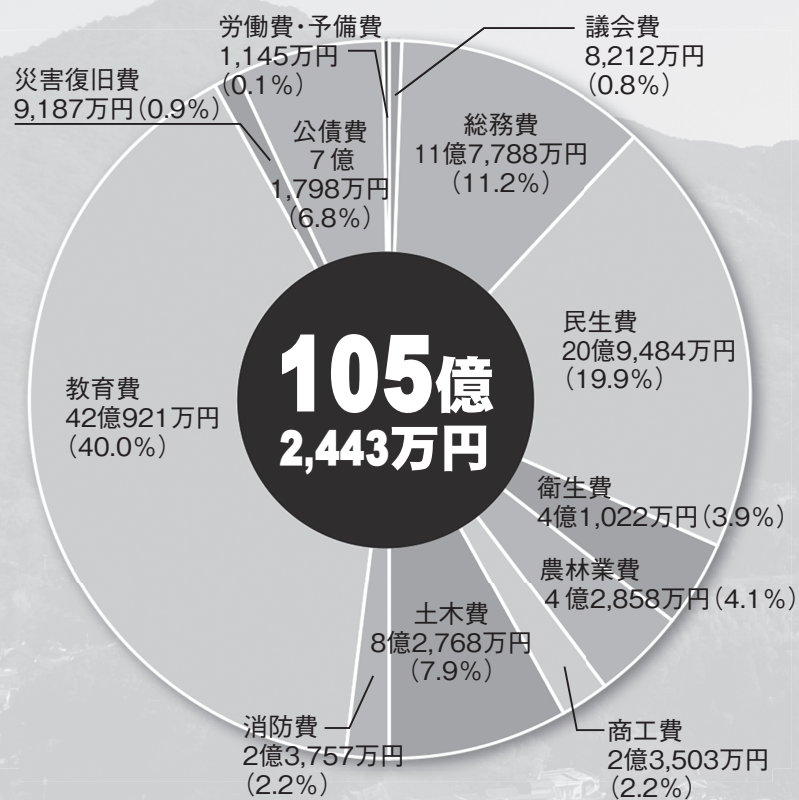
自主財源の核となる町税は前年度比388万円の減額となっています。固定資産税で3年に1回行う評価の見直し(評価替え)により家屋の減価償却が進んだことなど約1060万円の減額見込みとなったことが主な要因です。

歳出

昨年度、本格的な工事が始まった小中学校建設事業。運動場や体育館の跡地に新しい校舎棟、体育館棟が令和7年2月末の完成を目指し建設中です。建設などにかかる費用は36億4230万円を見込み、教育費は前年度比で15億2373万円の増額となりました。また、現在休業中のひこさんホテル和は令和6年秋に再開するためボイラーや空調設備などの機器更新を行います。さらに朝日ヶ丘団地建替事業などの投資的事業が連なることから、町の負担となる事業財源を確保していくために既存事業の見直しや、新規に行う各種事業経費の精査などの財源確保を行い、魅力あるまちづくりに取り組みます。

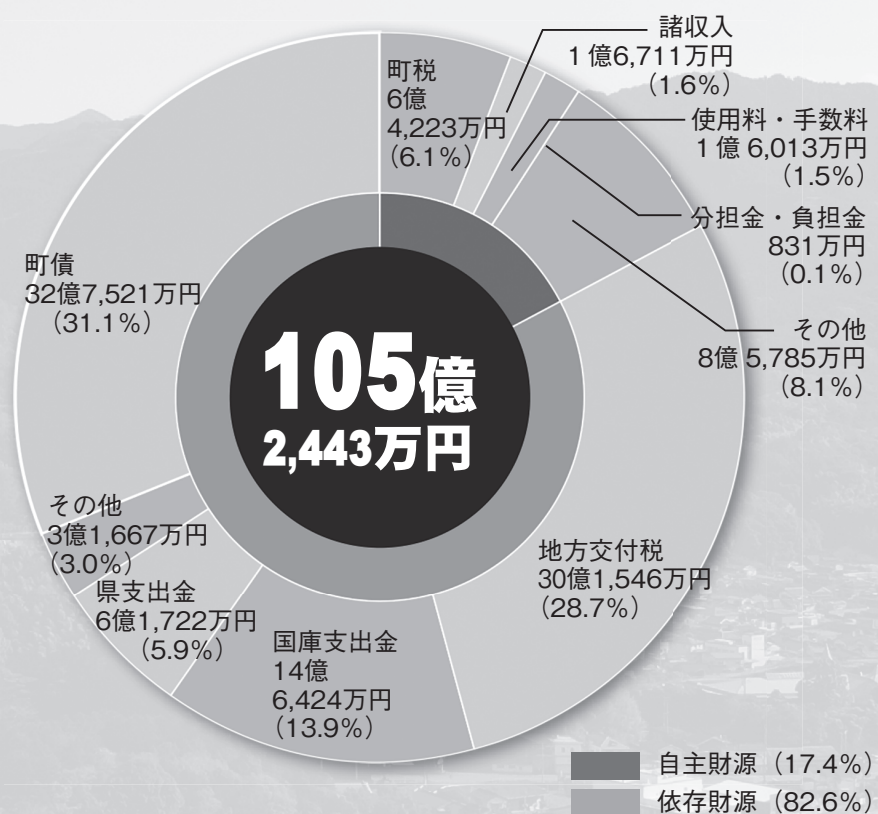
▶一般会計歳出

(前年度比 + 19.5%)



▶一般会計歳入

(前年度比 + 19.5%)



自主財源 (17.4%)
依存財源 (82.6%)

▶特別会計

16億 2,369万円

前年度に比べ 3,882万円の減額 (▲ 2.3%)

特別会計は、一般の歳入歳出予算と区別して行われる、予算の使用用途が限定された会計です。

特別会計名	当初予算額	前年度比	問い合わせ
国民健康保険事業勘定特別会計	11億9,563万円	▲ 4.0%	住民課保険年金係(☎82-5966)
後期高齢者医療特別会計	2億592万円	+ 5.6%	住民課保険年金係(☎82-5966)
住宅新築資金等貸付事業特別会計	75万円	▲ 9.6%	社会教育課人権同和推進係(☎82-5800)
バス事業特別会計	2,289万円	+ 1.9%	まちづくり課まちづくり推進係(☎82-5965)
水道事業会計	1億9,850万円	▲ 0.3%	水道課管理係(☎82-5961)

用語の説明

【歳入】

- ▼町税：町民税、固定資産税、たばこ税、軽自動車税など、皆さんに納めていただく税金
- ▼地方交付税：市町村の財力に応じて国から交付されるお金
- ▼国庫支出金：市町村が行う特定の事業に対して、国から交付されるお金
- ▼県支出金：市町村が行う事業に対して県から交付されるお金で、通常は使途が特定されます
- ▼町債：町の借入金で償還が2年以上にわたるもの

【歳出】

- ▼議会費：議会運営の経費
- ▼総務費：行政全般の事務などに関する経費
- ▼民生費：障害者や高齢者に対する福祉や子育て支援などの経費
- ▼衛生費：環境保全や健康づくりの支援などの経費
- ▼農林業費：農業や林業の振興のための経費
- ▼商工費：商工業や観光の振興のための経費
- ▼土木費：道路や河川の整備、町営住宅建設などの経費
- ▼消防費：消防活動や災害対策などの経費
- ▼教育費：学校教育や生涯学習の充実、文化・スポーツなどの経費
- ▼公債費：過去の町債を返還するための経費

借入金の状況

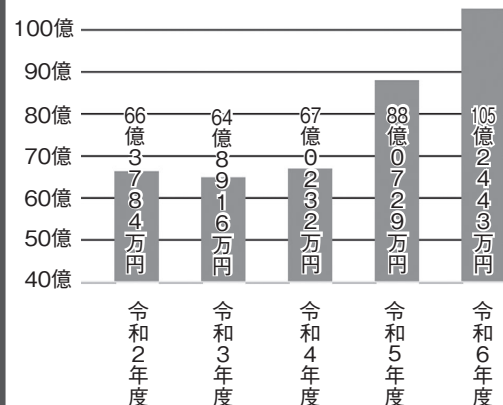
▶年度末借入金（地方債）残高 一般会計

令和4年度決算額	約63億9,267万円
令和5年度見込額	約84億9,881万円
令和6年度見込額	約110億9,875万円

令和6年度も5年度に続き添田町立小中学校建設事業、朝日ヶ丘団地建替事業などにおける事業費の財源を確保するため借入金を予定しています。令和6年度末残高については、令和5年度見込額と比較し、増額となる見込みです。



一般会計当初予算 過去5年間の推移



貴重な文化財を未来につなぐ
文化財保護事業

▶ 4,315万円（教育費）
令和7年秋の完成を目指し改修中の英彦山神宮上宮や、昨年
の大雨で被災した旧政所坊庭園
などの修復や保存費用の一部を
補助します。



デジタルをもっと身近に
デジタル活用支援事業

▶ 326万円（総務費）
昨年度に続き高齢者を対象と
したスマートフォン教室やeス
ポーツ体験教室、世代間交流を
目的としたデジタル講座などを
行います。



欲しい情報にすぐ届く
ホームページリニューアル事業

▶ 1,540万円（総務費）
平成23年のリニューアルから
10年以上が経過したホームペ
ージを、スマートフォンにも対応
した、見やすいホームページに
リニューアルします。



令和6年度 主要事業

令和6年度、添田町の主要事業をお知らせします。今回お知らせした事業の他にも
住民税で均等割のみが課税されている世帯に10万円を給付する「住民税均等割世帯給
付金給付事業」や、物価高騰の影響を受けている低所得の子育て世帯に対し給付金を
支給する「低所得世帯子ども給付金給付事業」などを予定しています。

大雨に強い河川へ
河川改修事業

▶ 4,415万円（土木費）
大雨が降るたびに氾濫し、近
隣住家に浸水被害をもたらして
いた畑谷川のしゅんせつ工事で
小森川の改修工事を行います。



森林を健全な形で次の世代に
県植樹祭負担金

▶ 200万円（農林業費）
24年ぶりに添田町で開催され
る福岡県植樹祭の経費の一部を
負担します。オークホール周辺
や添田公園で広葉樹の植樹を計
画しています。



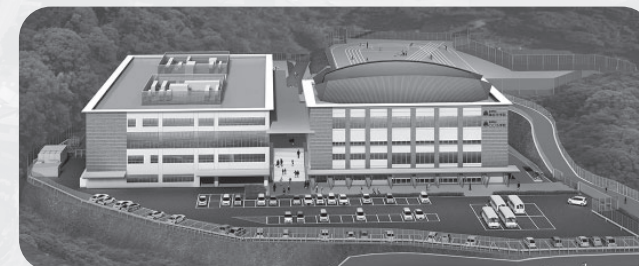
農業の課題解決に向け
農業振興検討事業

▶ 14万円（農林業費）
農業従事者の高齢化や後継者
不足、農業生産活動での人手不
足などの課題解決に向け、援農
や福祉分野との連携など新たな
仕組みづくりを検討します。



子どもの学力・個性を伸ばす学校づくり
添田小中学校建設・開校準備事業

▶ 36億4,230万円（教育費）
令和5年8月から始まった添田町立小中学校建
設工事は、令和6年3月現在、校舎棟・体育館棟
の基礎工事を終え、1階部分の躯体工事を行って
います。新学校は木のぬくもり溢れる健康的な学
習環境を整えるため添田産の木材を用いて内装を
木質化し、木と触れ合い、木に親しんでもらえる
よう多くの木製品を導入します。その他にも校内
のネットワークやスクールバス、図書・備品の購入・
移設など開校に当たってさまざまな整備を行いま
す。また、開校にあわせ新たな小学校の校歌、校章、
校旗の作成などを行い、令和7年4月に開校する
予定です。



33年ぶりの大改修
グラウンドゴルフ場改修事業

▶ 1,008万円（教育費）
そえだサン・スポーツランド
内グラウンドゴルフ場の人工芝
が長年の風雨で劣化しているた
め撤去し、コース改修を行いま
す。



スポーツの振興
全国高校総体登山大会負担金

▶ 806万円（教育費）
8月に英彦山を舞台に行われ
る全国高校総体（インターハイ）
登山大会の経費の一部を負担し
ます。スポーツによる交流人口
の増加などが見込まれます。



令和7年度中に完成します
朝日ヶ丘団地建替事業

▶ 3億4,673万円（土木費）
朝日ヶ丘団地第4期事業のう
ち、設計、造成、既存住宅の解
体を行います。第4期朝日ヶ丘
団地新築工事は令和7年度に実
施予定です。



1年半振りの再開。英彦山観光の核が復活！
ひこさんホテル和施設改修事業

▶ 7,348万円（商工費）
令和5年3月末で休館となっていたひこさんホ
テル和。ホテルで快適に過ごすには欠かせない空
調設備の更新や、休館の原因となった温泉設備の
心臓部であるボイラーの更新などを行います。



近くの避難所や避難経路の確認を
防災マップ作成事業

▶ 910万円（消防費）
現在の防災マップは令和2年3月現在の情報が
記載されていますが、彦山地区の防災拠点施設の
新設など避難所や土砂災害警戒区域の変更などが
あったため、新しい防災マップを作成します。



税のお知らせ —TAX INFORMATION—

町税などの納期内納付をお願いします

皆さんに納めていただいている町税や使用料は、社会福祉や教育、医療など幅広い行政サービスに活用されており、町の非常に貴重な財源です。今年度の町税などの納期限が下表のとおりに決まりました。納期限を確認し、納め忘れのないようにお願いします

		町県 民税	固定 資産税	軽自 動車税	国民 健康 保険税	後期高齢 者医療 保険料
5月	5/31(金)		1期	全期		
6月	7/1(月)	1期				
7月	7/31(水)		2期		1期	1期
8月	9/2(月)	2期			2期	2期
9月	9/30(月)		3期		3期	3期
10月	10/31(木)	3期			4期	4期
11月	12/2(月)		4期		5期	5期
12月	1/6(月)	4期			6期	6期
1月	1/31(金)				7期	7期
2月	2/28(金)				8期	8期
3月	3/31(月)					9期

▶▶口座振替は毎月25日です。

◎納税通知書発送時期

- ▶5月＝固定資産税、軽自動車税
- ▶6月＝町県民税
- ▶7月＝国民健康保険税、後期高齢者医療保険料

◎滞納には厳しく対応します

町では公正で適正な負担を図るため、町税などに滞納がある人に対して、福岡県と共同で給与や預金の差し押さえなどの滞納処分を行っています。やむを得ない理由で、一時的に期限内の納付ができないときは、放置せずに役場住民課税務・滞納対策係に相談ください。

【令和5年度の差し押さえなどの件数と納付額】

- ・件数＝53件
- ・納付額＝2,562,978円

☎ 役場住民課税務・滞納対策係 (☎ 82-1234)



添田町タクシー利用助成事業

タクシー利用助成は毎年申請が必要です

運転免許を持たない満75歳以上の人を対象とした「タクシー利用助成券」の交付を受けるためには、毎年申請が必要です。役場から郵便などで申請の案内はしていません。

◎対象者 <<すべてに該当する人>>

- ▶添田町に住民票がある75歳以上の人
- ▶運転免許証を持っていない人
- ▶町税、使用料などに滞納がない人

◎助成内容 利用助成券1枚につき500円を助成 ※交付決定月により交付枚数が異なります。

◎必要なもの 印鑑、健康保険証などの本人確認ができるもの、タクシー利用者登録証（すでに登録している人のみ）

※代理で申請する場合は、本人と代理人の印鑑、本人確認ができるものが必要です。詳しくは問い合わせください。

☎ 役場まちづくり課まちづくり推進係 (☎ 82-5965)



マイナンバーカードを作りませんか

マイナンバーカードの出張申請を実施しています

マイナンバーカードを作りたいけれど「どうしていいかわからない」、「施設にいるので役場に行くことができない」などとお困りの人を対象に出張申請を実施しています。電話で予約すると、職員が自宅や施設などに訪問し、顔写真撮影から申請書の作成まで、マイナンバーカードの申請に必要な手続きを行います。マイナンバーカードの申請を検討している人は、この機会をぜひ利用ください。

◎対象 <<すべてに該当する人>>

- ▶訪問先が添田町内であること
- ▶添田町に住民登録があること
- ▶高齢や障がい、病気などの理由により外出が困難であること
- ▶マイナンバーカードの受け取りまでの間に転出する予定がないこと
- ▶申請者本人が訪問先にいること（15歳未満または成年被後見人の人は、法定代理人が同席してください）

※その他、役場に来ることができない人は、相談ください。

◎出張申請の流れ

- ①役場住民課戸籍住民係に電話で希望日時を伝えてください

▶電話番号 82-1233

▶受付時間 平日8時30分～17時15分

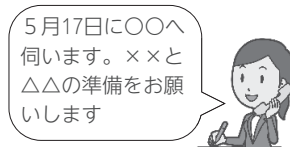
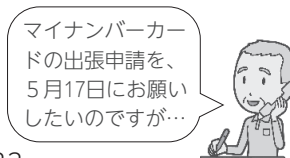
※状況により、希望する日時に沿えない場合があります。

- ②戸籍住民係から折り返し電話をかけます。訪問日時と準備するものを伝えます

- ③職員が訪問し、写真撮影や申請書類を作成します

※マイナンバーカードの受け取り方法は、訪問時に説明します。

☎ 役場住民課戸籍住民係 (☎ 82-1233)



全国瞬時警報システム放送訓練

Jアラートの放送訓練をします

大災害や緊急事態発生時に備え、全国瞬時警報システム（Jアラート）を使用した自動放送訓練が全国一斉に実施されます。町でも、次の日程で防災無線のスピーカーから下記の内容が放送されます。放送に伴い、避難などを行う必要はありません。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

- ▶放送訓練日時
- 5月22日(火) 11時頃
 - 8月28日(火) 11時頃
 - 11月20日(火) 11時頃
 - 2月12日(火) 11時頃

- ▶放送内容
- ① 開始チャイム
 - ② 「これはテストです」
 - ③ 「こちらは添田町です」
 - ④ 終了チャイム

☎ 役場防災管財課防災安全係 (☎ 82-4002)



障がいをもつ子どもの将来のために

障害年金(20歳前障害)という制度があります

傷病や障がいによって日常生活などに介助が必要な人に、20歳以降に給付を受けることができる障害年金という制度があります。20歳以降に申請でき、国が定めた障害等級表の状態に該当すれば年金が支給されます。

◎障害年金1等級 (年間支給額102万円)

介助を受けなければ日常生活のことがほとんどできないほどの障がいの状態

◎障害年金2等級 (年間支給額81万6千円)

必ずしも助けを借りる必要はなくても日常生活は極めて困難で労働による収入を得ることができないほどの障がいの状態

※申請には医師の診断書が必要です。詳しくは問い合わせください。

☎ 役場住民課保険年金係 (☎ 82-5966)
直方年金事務所 (☎ 0949-22-0891)

国民年金保険料の納付は割引制度がお得です

国民年金保険料額が16,980円に変わります

令和6年度の国民年金保険料は、月額16,980円です。支払い方法によって、お得な割引制度(最大1か月あたり691円)がありますのでご利用ください。各月納付や口座による翌月末振込以外の納付方法で保険料を納めると割引を受けることができます。お得な割引制度については、日本年金機構のホームページを確認、または役場住民課保険年金係に問い合わせください。

◎学生納付特例制度

20歳以上の人は、学生であっても国民年金に加入しなければなりませんが、所得の少ない学生のために、学生専用の年金免除制度があります。

【手続きの際の注意事項】

- ・本人の学生証（学生である期間がわかるもの）または在学証明書が必要です。

☎ 役場住民課保険年金係 (☎ 82-5966)





中島家でたくさんの華やかな催し

中島家住宅押花作品展・演奏会

国指定重要文化財中島家住宅で4月7日まで藤本サチ子さんによる押し花の作品展が開かれています。藤本さんは昨年、日光東照宮（栃木県）で個展を開いた押し花作家で、期間中は押し花を使ったコースターを作るワークショップも開催。「買ってきた花よりも野山で採った自然の花のほうが作品と調和します」と藤本さんは笑顔で話してくれました。また、3月24日に鍋藤音楽教室による大正琴と添田キューバンガールズによるオカリナの演奏会が開かれました。柔らかく澄んだ大正琴の音色と美しいオカリナのハーモニーが響き渡り、訪れた人たちを魅了していました。

↓40年程前から作品を制作している藤本さん。見ごたえのある30点余りの作品が展示されています



↑演奏に合わせて来場者が合唱する場面も

↑オカリナだけではなくフルートでの演奏もありました

子どもたちの笑顔あふれる1日

第38回子どもまつり

3月3日、そえだドームで子どもまつりが行われました。4年ぶりとなった今回は、約100人が参加。囲碁ボールやわなげ、紙飛行機飛ばしなどの3人1組で行うチーム競技と、子ども会対抗の大縄跳び・アジャタの団体競技で競い合った子どもたち。会場は明るい歓声と大きな声援が飛び交い、熱気に包まれていました。



↑みんなでタイミングを合わせてジャンプ!!

災害復旧活動を行う姿に憧れ入隊

自衛隊入隊予定者が表敬訪問

3月18日、田代翔悟さん（上落合一）が役場を訪れ、寺西町長に令和6年度に陸上自衛隊へ入隊することを報告しました。田代さんが「国のために尽力することを誓います」と力強く述べると、町長は「自衛隊には災害復旧をはじめ尽力いただいています。添田、そして国のために頑張ってください」と激励していました。



↑固い握手を交わす田代さん◎と寺西町長◎

使わなければゴミになる、SDGsな工作

児童館わくわくイベントデー

使わなければ捨てられる物で作る工作教室が児童館で開かれました。20日に卵の殻に色を付け接着剤で張り付け、絵を作る「卵の殻アート」を、23日に木材の切れ端を使い作品を作る「廃材アート」を作りました。どちらの材料もゴミになる前に再利用された物で作る、環境に優しい工作を児童は思い思いに楽しんでいました。



↑(上段)卵の殻を色づける児童(下段)完成した廃材アート

赤ちゃんを災害から守るためにできること

町地域子育て支援センター講演会

3月6日、地域子育て支援センターで江崎グリコ(株)の子育てアドバイザー池田えみさんを講師に講演会が開かれました。参加者は災害発生時に赤ちゃんを守るため、日頃使っているママパックに液体ミルクなどの備えを入れておくことや、避難した先でのミルクや離乳食、おやつづくり、与え方などを学びました。



↑粉ミルクで簡単に作れるおやつは幼児・保護者に大人気

火災現場で冷静に対応するために

添田町消防団春季火災防ぎょ訓練

3月3日、そえだサン・スポーツランドで添田町消防団春季火災防ぎょ訓練が行われました。出勤順や消火分担などを事前に決め行うことが多い消防団の訓練ですが、今回は発令時刻と火災発生場所以外の細かい想定を決めず、各分団それぞれ違う場所から出動し参加します。火災現場のグラウンドゴルフ場付近に到着した分団は近くを流れる水路から水利を確保し、ホースを持ってグラウンドのり面やフェンスを超え消火活動にあたります。梶原茂敏団長は「各分団臨機応変に対応ができていた。実際の火災現場でも今日のように冷静に消火したい」と話していました。

↓グラウンドゴルフ場に設置された点する火点(発煙筒)に向け、一斉放水を行う消防団員たち



↓「人口よりも人と人のつながりに目を向けていくことが大事です」と話す東さん



↑アイデアがとまらない参加者の皆さん

地域で暮らし続けていくために

津野地区わくわくミーティング

3月20日、津野公民館で島根県地域研究センター主任研究員の東良太さんを招いて、わくわくミーティングが開かれました。人口減少や高齢化が進む中、地域コミュニティなど生活機能を維持・確保し、地域で楽しく暮らしていくために、小さな拠点づくりに取り組んでいる津野地区。実際に島根県で小さな拠点づくりを支援している東さんから事例の紹介や地域づくりの心構えなどを聞きました。「当たり前のことをみんなで確認して、1歩を踏み出しましょう」と熱弁する東さん。講演の後には参加者同士でこんなことができたらいねをテーマに、未来について語り合いました。



さまざまな困難を乗り越え卒業

添田中学校卒業式

添田中学校卒業式が3月8日、オークホールで行われました。卒業生は1・2年生時にはコロナでの活動制限、3年生時には校舎建替による授業の制限などの困難を乗り越えての卒業です。一人ずつ卒業証書が手渡された後、生徒会長の平川悠人さんが「みんなと過ごす時間も今日で最後です。また明日も会いたい。しかし旅立ちの時です。これから先、困難や試練にあった時は校舎で過ごした3年間を思い出し、立ち上がっていきましょう」と答辞を述べると多くの卒業生が涙していました。さまざまな制限を乗り越えた63人の卒業生。最後は最高の笑顔で旅立ちました。

↓涙を誘う卒業生答辞を述べた平川さん

↓オークホールステージで渡された卒業証書



↑式の最後に在校生、保護者へ向かい東日本大震災で被災した南相馬市で作られた「群青」を合唱しました

①お子さんの写真 ②お子さんの氏名 ③名前の読み方 ④誕生日
⑤年齢 ⑥行政区 ⑦メッセージ(50文字以内) ⑧保護者の連絡先
を4月12日(金)までに下記アドレスに送信してください。

送信先 koho@town.soeda.fukuoka.jp

〒 役場総務課広報・秘書係 (☎ 82-4000)



だいき
古河 大輝 ちゃん
4月14日生 ⑥・旧三崎

だいちゃん♡誕生日おめでとう♡
来年から小学生!!最後の保育園生
活いっっぱい楽しもうね♡大好き
だよっ♡



そうすけ
川越 奏輔 ちゃん
4月16日生 ⑤・新城

いつもニコニコなそうちゃん☆
いちご狩りにまたいごうね!!



けんと
上田 絢斗 ちゃん
4月26日生 ⑤・伊原

笑顔の可愛いけんとくん♡あつ
という間に5歳!!どんなお兄ちゃ
んになるのか楽しみです♪お誕
生日おめでとう♡



あいき
古河 逢輝 ちゃん
4月30日生 ④・旧三崎

あつくん♡誕生日おめでとう♡
食べる事とママが大好きなあ
つくん!これからも元気いっぱい
に育ってね♡好きだよっ♡

添田町地域子育て支援センターからのお知らせ

子育て支援センターは保育所や幼稚園に通っていない親子が交流を深めたり、楽しく遊んだりできる施設です。くるみ保育園2階にあり、保育士が常駐して子育ての不安や悩みも相談できます。絵本の読み聞かせや、工作、保健師や助産師からのアドバイスを受けることができるサークルも定期に開催しています。日曜、祝日を除く10時から16時まで開いていますので、気軽に遊びに来てください。

【サークルの紹介】

※時間や場所は変更になる場合があります。詳しくは問い合わせください。

サークル名	開催日時、場所	活動内容
サークル「めだかっこ」	毎週火曜日 10時～12時 子育て支援センター	未就園児の親子を対象に自由遊びや製作、運動遊びなどを行っています。今年度から給食を再開します。(要予約)
サークル「おんぶに抱っこ」	毎週金曜日 10時～15時 町立児童館	未就園児と保護者が対象のサークルです。親子健康教室やおっぱい相談もありますので、子育ての不安や悩みも気軽に相談できます。
ベビーサークル「あっぷっぷ」	毎月第2・第4水曜日 10時～12時 子育て支援センター	生後2か月～8か月の乳児と保護者を対象にベビーマッサージやふれあい遊び、育児相談などを行っています。
マタニティサークル「ポコ・ア・ポコ」	毎月第2木曜日 10時～12時 オークホール和室	助産師さんと一緒に妊娠中の生活などを楽しく学びます。アロママッサージ体験やおしゃべりを楽しみながらのティータイムもあります。今年から子育て中のママの参加もお待ちしております♪

【子育て支援センター4月の主な予定】

- ★サークル「めだかっこ」(毎週火曜日) ▷9日/新年度スタート ▷16日/虹の会読み聞かせ・給食スタート ▷23日/戸外遊び ▷30日/こいのぼり製作
- ★サークル「おんぶに抱っこ」(毎週金曜日) ▷12日/おもちゃ遊び ▷19日/親子健康教室・おっぱい相談 ▷26日/虹の会読み聞かせ
- ★ベビーサークル「あっぷっぷ」▷10日 ▷24日/虹の会読み聞かせ
- ★マタニティサークル「ポコ・ア・ポコ」▷11日

詳細は「おんぶに抱っこ通信」で確認ください。「おんぶに抱っこ通信」は添田町役場などで入手でき、添田町子育て総合サイトにも掲載しています。

〒 添田町地域子育て支援センター (☎85-0888) 添田町大字落合984番地くるみ保育園2階



↑町子育て
総合サイト

難攻不落と言われた城 岩石城の歴史

今から約40年前の4月、町内では歴史的な出来事が起きていました。それは、天正15(1587)年の豊臣秀吉による「岩石城攻め」です。今回の歴まちコラムでは、岩石城にまつわる話を紹介します。

岩石

石城の戦いは豊臣の軍勢が「豊前一の堅城」と呼ばれた岩石城をわずか一日で攻め落としたことで、その力の強さが九州一円に伝わり、その後の九州平定の戦況にも大きな影響を与えたものと考えられています。

岩石

石城は保元3(1115)年に平清盛が太皇親に命じて築城させたことに始まり、慶長20(1615)年の一国一城令で廃城に至るまでの約450年間も存続し続けていました。この間、岩石城の城主は次々と替わっており、築城後には源平合戦(治承4(1180)年)元暦2(1185)年の影響により、平氏方の大庭氏から源氏方の日田

こ

のように、岩石城では城主の入れ替りがしばしば行われていますが、そのなかでも注目すべきは天文年間頃(1532～1554)に岩石城を守っていたとされる



佐々木源右衛門です。この人物は岩石城周辺の地元有力者と考えられており、この佐々木氏を祖先とするのが「佐々木小次郎」と言われています。佐々木小次郎については残された資料が少なく、その実像は不明な点が多くあり、小次郎の生誕地も福井説や岩国説など諸説ありますが、近年では添田説も有力な説の一つとなっています。添田説の根拠とされているのは、小次郎が小倉藩の兵法指南役を勤めていたことによるものですが、具体的には次回の歴まちコラムで紹介しますので、乞うご期待ください。

【参考文献】『彦山・岩国城と佐々木小次郎(上)』梶谷敏明(平成20年)『岩石城』添田町(平成4年)

文芸歳時記

【短歌 投稿】

参道を昇りて春の奉幣殿
祈る人あり憩う人あり
立ち話八十路の人が喜寿の吾に
百歳生きるはグブアップなり
確実に世界は変わる

尻理屈はもはや机上の空論となる
ふわりふわりと雪が降るもうい、よ
被いつ、めよ老ひたる我を
極めしか花はちる散る迷ひなく

又来る春を疑ひもせず
柳瀬 一徳
西村 宗雪

【俳句 投稿】

眺望の英彦霊峰や笑ふ山
小さな木咲き誇りたる山椿
杖曳いて梅見と酒落る美しき齡
こんやくを手綱に煮染め春祭り
田圃まで行けば母ゐる夕雲雀
春光や川原飛び立つグライダー
ビルの窓束の間染むる寒菈
おもきもの捨てて翔びたし春の陽に

【川柳 投稿】

虚しさは戦争絶えないこの世界
幸せは夫が肩を揉んでくれ
●5月号に掲載する俳句・短歌・川柳を募集します
4月12日(金)までに役場総務課に投稿してください。
※投稿1人一句まで。俳句・短歌・川柳の区分を書
いてください。

〒 役場総務課広報・秘書係 (☎ 82-4000)



教育のひろば

添田町立小中学校 新校舎まであと1年!!



新年度が始まり、いよいよ今の校舎で過ごすのも、残り1年となりました。学校は、児童生徒達の学び舎としてだけでなく、時には災害発生時の避難所として、時には地域住民の行事などとして利用されてきました。思い出っぱいの校舎ともあと1年でお別れです。今年度は勉強やスポーツ、遊びだけではなく、開校に向けた準備も進めていくため、夏休み・冬休みを短くし、春休みを長めにする予定です。保護者の皆さんには、例年と異なるお休みにご迷惑、ご負担をおかけしますがご理解くださいますようお願いします。

●学校給食費の2分の1を支援します

昨年度、学校給食費の価格改定が行われ、町では保護者の皆さんの負担を軽減するため、改定増額分に対して支援を行いました。今年度は、国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、物価高騰が続く子育て世帯の皆さんの負担を軽減するため町内小中学校における学校給食費の2分の1を支援します。今年度保護者の皆さんに支払いをお願いする学校給食費は表のとおりです。なお、この取り組みは今年度のみです。



【今年度の給食費】

▶小学校

月額	4,900円×1/2=2,450円
年額	2,450円×11か月=26,950円

▶中学校

月額	5,700円×1/2=2,850円
年額	2,850円×11か月=31,350円

●『楽しいこと』がいっぱいの児童館から

児童館では小学校6年生までの子どもたちが利用できます。小学校就学前までは保護者が同伴することがルールとなり、小学生になったら1人でも利用することができます。毎月『楽しいこと』を計画していますのでぜひ遊びに来てください!!

問 教育委員会学校教育課 (☎ 82-5963)

くらしに役立つ情報満載 Information

試験・募集

自衛官採用試験

- 【第1回一般曹候補生】
- ▼試験日 5月18日(土)～24日(金)のうちいずれか1日
- ▼受付締切 5月7日(火)
- ▼受験資格 日本国籍を有する18歳から32歳までの人
- 【第1回自衛官候補生】
- ▼試験日 ▽筆記試験・適性検査/5月18日(土)～24日(金)のうちいずれか1日 ▽口述試験・身体検査/5月30日(木)～6月3日(月)のうちいずれか1日
- ▼受付締切 5月7日(火)
- ▼受験資格 日本国籍を有する18歳から32歳までの人



- ▼試験会場など詳しくは問い合わせてください。
- 問 自衛隊福岡地方協力本部飯塚地域事務所 (☎ 0948-22-4847)
- 野田獅子楽参加者募集
- 野田獅子楽保存会では、野田地区の神幸祭で奉納される、「獅子楽」への参加者を大募集しています。5月中旬の本番に向け

- ▼任期 令和7年3月末まで
- ▼応募資格 県内在住の18歳以上でインターネットを利用できる人(※一部除外要件あり)
- ▼謝礼 活動実績に応じQUOカードを進呈(上限3千円)
- ▼応募締切 5月31日(金)
- ※詳しくは問い合わせください。
- 問 福岡県県民情報広報課広聴係 (☎ 092-643-3103)

相談

無料法律出張相談会

町では偶数月の第3金曜日に無料法律相談を行っています。

添田町を元気に！

地域おこし協力隊通信
Vol. 39

3年間の集大成
卒業展示を行います！！

こんにちは。空き家対策推進員の高瀬です。4月末をもって、地域おこし協力隊の3年間の任期が終了します。卒業後は、町内(津野)にある空き家を整備したコワーキングスペースと設計事務所の運営を行い、民間の事業者として今後も添田町のまちづくりに関わっていききたいと思います。卒業に伴い、3年間の活動記録を役場のロビーにて4日間限定で展示します。ぜひご覧ください。



◆とき 4月23日(火)～26日(金)
8時30分～17時15分

◆ところ 添田町役場1階ロビー

【お知らせ】

空き家を整備した、コワーキングスペース「里山のシェアスペース"ツノオンド"」が、4月3日にグランドオープンしました。自然に囲まれた環境の中で、作業や仕事などを行ってみませんか。詳しくは、Instagramまたはホームページで確認ください。



↑ Instagram ↑ ホームページ

問 役場まちづくり課まちづくり推進係 (☎ 82-5965)

- て、4月から練習を始めます。皆さんの参加を心よりお待ちしております。
- ▼対象者 ▽獅子舞Ⅱ高校生以上(住居は問いません) ▽楽打ちⅡ町内在住の幼児および小学生
- ▼練習日時 4月15日(月)～21日(日) 18時～20時
- ▼練習場所 野田公民館
- 問 野田獅子楽保存会代表木森さん (☎ 090-9570-9392)
- 第54回田川郡民登山会参加者募集
- ▼とき 5月12日(日) 9時30分集合
- ▼集合場所 採銅所駅前

- ▼目的 地 牛斬山(580メートル)
- ▼参加費 無料
- ▼募集期限 4月25日(木)
- ▼注意事項 ▽登り約1時間30分、下り約2時間の行程を予定しています ▽小学生以下は保護者同伴で参加してください
- ▽弁当、水筒、雨具などの必要品は、各自で用意してください。
- ※申し込み方法など詳しくは問い合わせてください。
- 問 教育委員会社会教育課社会教育係 (☎ 82-2559)



- 公共職業訓練生(6月生)を募集します
- 離職などで再就職を希望する人を対象に、専門知識や技能を学ぶ6か月間の職業訓練です。
- ▼訓練期間 6月4日(火)～11月27日(水)
- ▼訓練科名 ものづくり溶接科/定員15人
- ▼対象者 公共職業安定所(ハローワーク)に求職を申し込みしている人
- ▼受講料 無料(教科書・作業着などは自己負担)
- ▼募集期限 5月9日(木)
- ▼入所選考 5月15日(水)/筆記および面接

- ▼選考会場 ポリテクセンター飯塚(飯塚市)
- ▼申込先 住所を管轄する公共職業安定所(ハローワーク)
- 【施設見学会・説明会】
- ▼とき 4月16日(火) 13時～
- ▼ところ ポリテクセンター飯塚
- 問 ポリテクセンター飯塚 (☎ 0948-22-4988)
- 県政モニター募集
- 福岡県が取り組む施策や制度に意見・提案をいただくため県政モニターを募集しています。
- ▼活動内容 アンケートの回答、県政への意見・提案の提出



イベント

上中元寺ヤマメ釣り大会 ヤマメつかみどり大会

- 【ヤマメ釣り大会】
- ▼とき 4月28日(日) 6時30分～11時(受付6時) / 雨天決行 ※事前予約不要。6時30分以降も随時受付。(表彰式11時ごろ)
- ▼ところ 上中元寺公民館前、田中組集会所前
- ▼参加費 一般Ⅱ千円、小学生以下Ⅱ千円(おにぎり・汁付き)
- ※ルアーの使用は禁止しています

す。釣り具の貸し出しは行いませんが、釣り具屋が来場し、釣り道具やエサの販売をします。



- ※成績上位の人には、豪華賞品があります。
- 【ヤマメつかみどり大会】
- ▼とき 4月28日(日) 10時00分～
- ▼ところ 上中元寺公民館前
- ▼対象者 小学生以下
- ▼参加費 小学生500円(釣り大会参加者と幼児は無料)
- 問 上中元寺青壮年クラブ猪熊さん (☎ 090-1510-4214)

人の動き

2月末日現在（ ）は前月比

- 人 口 8,476人（－15人）
- 出生 3人
- 男 性 4,008人（－7人）
- 死亡 20人
- 女 性 4,468人（－8人）
- 転入 14人
- 世帯数 4,424世帯（±0世帯）
- 転出 12人

相談

- 心配ごと相談（そえだジョイ／10時～15時）
4月16日(火)、5月7日(火)
 - 補聴器相談（役場ロビー）
4月10日(水)（13時～）、4月12日(金)（15時～）
 - 無料法律相談会
（福岡法務局田川支局／13時～16時）
4月9日(火)、5月14日(火)
- ※利用条件あり。詳しくは問い合わせください。
 田 法テラス福岡（☎050-3383-5502）
 ●こころの健康相談(田川保健福祉事務所／予約制)
 4月9日(火)（10時～）、4月25日(木)（14時～）
 田 田川保健福祉事務所健康増進課（☎42-9307）

信号機が設置されました

県道78号線と町道畑川法光寺線の交差点（旧中元寺踏切）に信号機が設置されました。

↑添田駅方面から ↑宮城病院方面から

警察署からのお知らせ

- 子どもの交通事故を防ぎましょう
- 歩行者の事故のうち最も多いのは7歳児の事故です。新一年生の保護者の皆さんは、通学路と一緒に歩いて安全な道路の渡り方やルールを教えて、交通事故を防ぎましょう。

2月の事故発生状況（ ）内は昨年同月比		
種 類	発生件数	今年の累計
物件事故	15(+7)	30
人身事故	2(±0)	3
死亡者	0(±0)	0
負傷者	2(-2)	3

田 田川警察署（☎42-0110）

クアハウス休館

清掃・施設点検などのため
 ▶期間 4月8日(月)～12日(金)
 田 クアハウス（☎82-5061）

税務署からのお知らせ

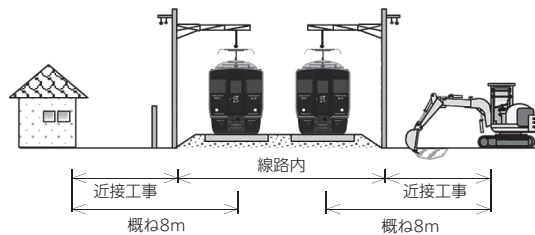
- 《お酒は二十歳になってから》4月は20歳未満飲酒防止強調月間です
- 令和4年4月から民法の成年年齢は18歳に引き下げられましたが、お酒に関する年齢制限は20歳のまま維持されています。
 田 博多税務署酒類指導官（☎092-641-8131）

くらしに役立つ情報満載 Information

J R九州からのお知らせ

鉄道近接工事にご注意を

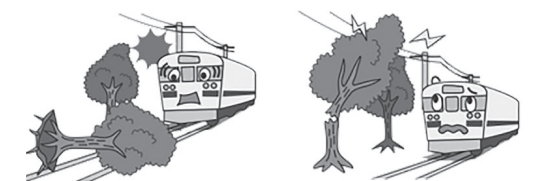
鉄道に関する事故は、一歩間違えれば脱線事故や感電事故など、大惨事を引き起こす可能性があります。建物の建設・解体や、庭木や山林の木の伐採など、鉄道施設に近接した作業を行う場合は、事前にJ R九州へ相談ください。



※作業内容や環境条件、使用重機によっては8m以上の場合でも鉄道近接工事の適用となる場合があります。
 ※工事、作業により列車の運行や鉄道施設に影響があった際には、損害賠償を請求する場合があります。

鉄道線路への倒木防止のお願い

木が鉄道線路に倒れると、列車に衝撃し乗車中の皆さんに被害を与える危険性があります。また、電線に引っかかり、信号トラブルの原因にもなります。線路側へ倒れそうな木が所有地にないか、注意をお願いします。



※線路側に倒れそうな木は、J R九州へ事前に相談のうえ伐木などの対策をお願いします。
 ※木が電線に接触した場合、感電する恐れがあります。この場合、接触した木へ絶対に触れず、下記に至急連絡して下さい。
 ▶J R九州電力指令 ☎092-624-3836
 ※安全に関わる緊急の場合、J R九州で伐木することがあります。

田 JR九州直方工務所（☎0949-22-0520）

お知らせ

自衛隊募集に事務に関する対象者情報を提供します

町では、法令に基づく防衛大臣からの依頼に応じて、自衛官および自衛官候補生募集のために必要な住民基本情報を提供しています。この情報をもとに、自衛隊福岡地方協力本部が自衛官募集の通知を個人に送っています。町から提供した情報は、保管期間・場所、廃棄方法、目的外の利用をしないことが厳重に定められていますが、情報提供を希望しない場合は、「除外申請書」を提出すると、提供する情報から除外しています。

▼対象者 その年に18歳および22歳となる人

▼除外申出方法 「除外申請書」を役場住民課戸籍住民係の窓口または郵送で提出
 ※除外申請書は、窓口で配布のほか町ホームページからダウンロードできます。



▼申出締切 5月17日(金)
 田 役場住民課戸籍住民係（☎82-1233）

身体障がい者巡回補装具判定

▼とき 5月27日(月)10時～（9時30分受付開始）

遠賀川環境保全活動団体支援助成事業

▼対象団体 支流を含む遠賀川流域で活動を行っている、または今後行おうとする会員数5人以上の団体
 ▼対象活動 除草・清掃活動、水質・生物調査など
 ※他からの助成を受けている活動は除きます。
 ▼助成対象活動期間 令和6年6月～令和7年1月
 ▼助成内容 上限10万円／1団体
 ▼申込期限 4月19日(金)
 田 北九州市上下水道局水質試験所（☎093-641-5948）



戦没者追悼式

先の大戦における戦没者に追悼の誠を捧げるとともに平和を祈念するため、戦没者追悼式を開催します。
 【全国戦没者追悼式】
 ▼とき 8月14日(水)～15日(木)
 ▼ところ 日本武道館（東京都）
 ▼申込期限 5月31日(金)
 【福岡県戦没者追悼式】
 ▼とき 8月15日(木)
 ▼ところ 福岡武道館（福岡市）
 ▼申込期限 5月31日(金)
 ※どちらの式典も参加には要件があります。詳しくは問い合わせください。
 田 役場福祉環境課福祉・障がい者支援係（☎82-1232）



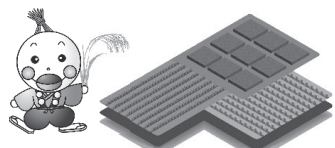
ありがとうございます

（敬称略）

福岡県保護・援護課
 （☎092-643-3301）
 ○能登半島地震災害義援金募金
 ▼募金額（2月1日～2月29日）
 9万9138円
 ※3月1日、日本赤十字社へ送金しました。
 ○添田町社会福祉協議会へ
 ▼香典返し ▼福岡山口智明（下津野）▼福岡伊藤ミツエ（下落合）▼福岡石井新（栲田）▼福岡内村伸子（野田）▼福岡佐藤トシ子（峰地団地）▼福岡小林チトセ（庄中）▼福岡伊藤洋（桜橋）
 （令和6年3月14日現在）

農業委員会報告

【3月13日(水)開催 総会審議結果】
 ▼農地法第3条にかかる所有権の移転
 ・2件／面積4911㎡を許可
 ▼農業経営基盤強化促進法に基づく利用権設定
 ・1件／面積23000㎡を許可
 ※令和6年5月開催の総会にかかる農地申請の締め切りは、4月25日(木)です。
 田 添田町農業委員会（☎82-1237）



副町長に柴田和紀氏が就任



令和6年第1回添田町議会定例会で、副町長の選任について同意され、柴田和紀氏が4月1日付けで就任しました。柴田氏は平成17年から福岡県に採用された福岡市出身の43歳。任期は令和10年3月31日までの4年間です。
 田 役場総務課総務係（☎82-1231）

有し、動物病院へ猫の搬送が可能な人

▼手術費用（耳カット費用含む）
 メス1匹11万円（税込）、オス1匹11万5000円（税込）

▼応募期間 4月15日(月)～5月15日(水)
 ▼手術実施期間 6月1日(土)～7月31日(水)

※二次募集は9月1日(日)から受付開始予定です。応募期間外の申し込みはできません。
 田 白木原動物病院（☎42-1006）
 田 済城動物病院（☎46-1122）
 田 たがわ動物クリニック（☎44-8600）
 田 ひらひら動物病院（☎32-7007）





特選

バスでおでかけ
巧木和宏(北九州市)

☆☆



秀作

北岳の白い巨人
戸谷忠司(鞍手町)



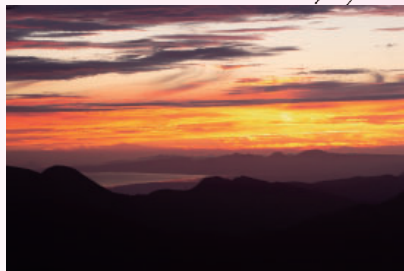
秀作

秋望
木下翔太(うきは市)



秀作

落ち葉遊び
安永香織(福智町)



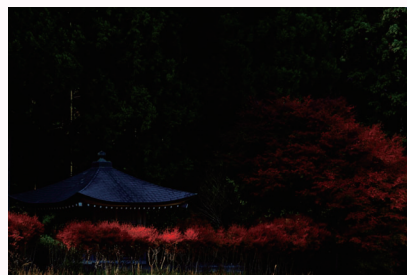
入選

英彦山北岳からの朝焼け
北原浩幸(直方市)



入選

ブルーアワーの桜並木
宮崎俊吾(添田町)



入選

通りがかりのとある御堂
梅澤雄二(飯塚市)



入選

英彦山スロープカーの秋
市原由紀(飯塚市)

たくさんのご応募
ありがとうございました



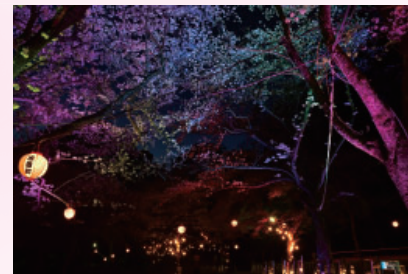
特選

前に～ならえ!!
柴田頼子(行橋市)



秀作

燃えるスロープカー
小川広子(北九州市)



入選

幻想美
前谷慎治(福智町)



入選

再びの駆け上がり
生田守(北九州市)



秀作

ひこぼし疾走
深田睦子(北九州市)



入選

生命力
松尾昭勝(北九州市)



入選

照ノ富士(土俵入り)
犬丸知子(嘉麻市)



秀作

轟発
田塚滉大(添田町)



秀作

村祭り
古川幸子(北九州市)



入選

力を込めて参道を下る
熊崎泰文(川崎町)

添田町 フォトコンテスト 入賞作品

全国に自慢したい「映える添田町」や「行ってみたいくなる添田町」をテーマにした第28回添田町フォトコンテスト。審査の結果、入賞作品が決定しました。
関 役場商工観光振興課 (☎ 82-1236)





◇発行／添田町 ◇編集／総務課
〒824-0691 福岡県田川郡添田町大字添田 21-51 番地
☎0947-82-1231 FAX0947-82-2869
ホームページ <http://www.town.soeida.fukuoka.jp>

◇印刷／丸五印刷株式会社
※広報そえだは再生紙を使用しています

69年間の思い出と3,409人の感謝を胸に… ありがとう宮城幼稚園

町内唯一の幼稚園、宮城幼稚園が3月末をもって69年の歴史に幕を閉じました。3月17日に行われた最後の卒園式では、5人の園児に丸山智子園長から修了証書が手渡されました。開園からの卒園児は3,409人。同日に行われた閉園式の後は園が開放され、教室に歴代の卒園アルバムや遊具、小道具などの展示があり、幼稚園を懐かしむ多くの卒園生や保護者らでにぎわいました。

宮城幼稚園の あゆみ

- 昭和30年 私立宮城幼稚園開園
- 昭和33年 園舎増築
- 昭和53年 園歌完成
- 昭和57年 学校法人宮城学園に
- 昭和58年 新園舎落成
- 令和6年 閉園

卒園式が始まる前に笑顔でピース



緊張の修了証書授与

卒園の歌を元気に歌いました



思い出たくさんの卒園アルバム



思い出が詰まった写真展示



いくつになっても
忘れない園庭の遊具



なつかしの机でハイ・チーズ



高かった玉入れも、
上まで手が届きそう



閉園を迎える学校法人宮城学園宮城幼稚園 宮城佳昭理事長にインタビューしました

69年の長い歴史と3,409名の卒園生という大きな足跡のある宮城幼稚園において、残念ながら「閉園」の時を迎えることとなりました。宮城幼稚園は危険なボタ山を多くの人々の善意で整地いただき、園舎を完成させ、昭和30年3月に県知事許可のもと創立され、これまでたくさんの園児を見送り、はぐくんでまいりましたが、人口減少、少子化が進んでいく中、閉園という苦渋の決断に至りました。3月17日、5名の卒園生に最後となる「修了証書」を授与しました。これからも宮城幼稚園の教育理念が末永く続き、卒園生、関係者の皆様に幸あらんことを願っています。

最後に宮城幼稚園の教育推進にご尽力いただきました関係者の皆様、先生方、子どもたちをいつも温かく見守っていただきました地域の皆様に感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。



●火災に関する情報は☎ 42-0119 で確認ください。